

# おれんじニュース

No293

2014年8月号



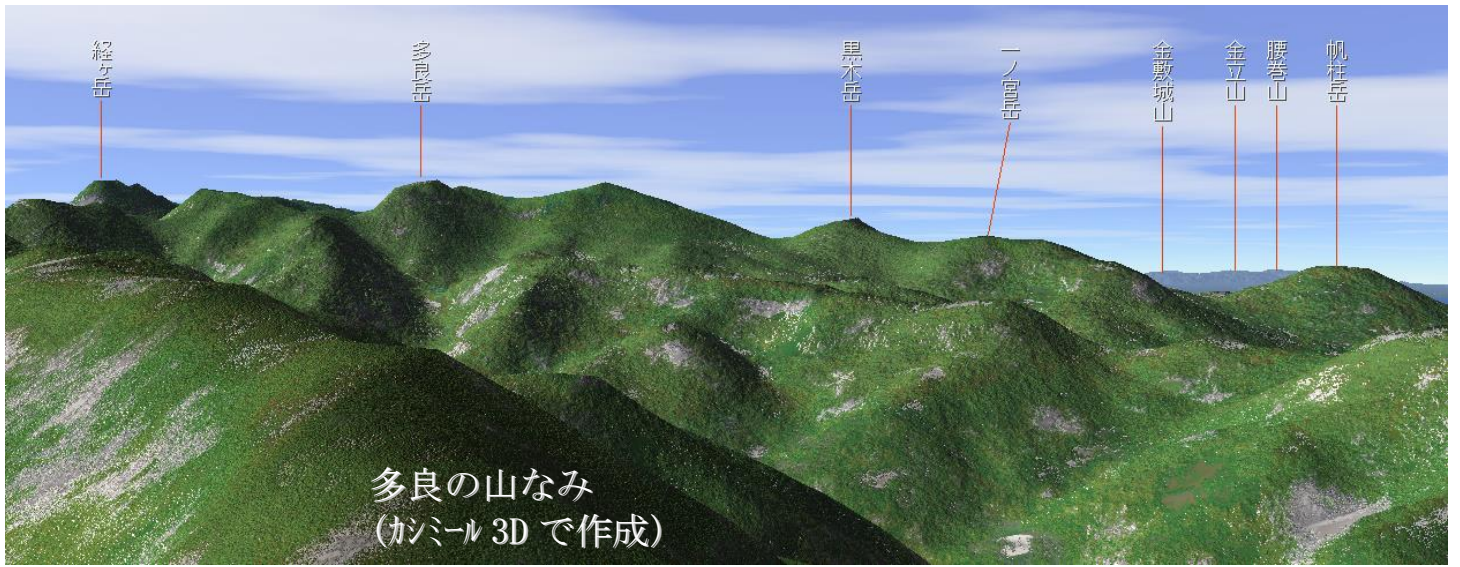
平治岳より見る坊がつると九重の山々(6/16)

## ★山行の一步は集会参加から★

	2014年8月	2014年9月	時 間	場 所
運営委員会	12日(火)	9日(火)	13:30~16:00	西諫早公民館
全体集会	27日(水)	24日(水)	19:00~21:30	

### 今月号の記事

勉強会(救急救命) 帆柱岳~多良岳縦走 脊振山~蛤岳縦走 くじゅうのオオヤマレンゲ  
国民平和大行進 九千部岳(雲仙) 芹洋子コンサート 高熱隧道と泡雪崩



多良の山なみ  
(カミール3Dで作成)



帆柱岳



鬼の岩屋の子供たち



九千部岳  
難しいコースを  
元気に登ったよ！



九千部岳



全山ヤマボウシ



## 2014 / 8月の山行

部	山行部	ひまわり山行部	技術研修部	自然保護部
月/日(曜)	8/5(火)～8/9(土)	8/22(金)	8/24(日)	8/29(金)
山名(行事)	立山登山 & 黒部ダム	岩床山	黒髪山	轟峡～金泉寺
地 図	立山・劔岳	雲仙	有田	多良岳
集合場所	5日 20:00 諫早 IC	西諫早駅 8:00	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	西諫早駅 8:30
難 易 度	中級	初級	初級&中級	初級
帰着時間	9日 6:30 : 諫早 IC	17:00	17 : 00	16:00
歩行時間	6日 1.5h 7日 6.0～7.5h	2.0～3.0h	4.0h	3.5h
交通手段	公共交通機関	マイカー	マイクロバス	マイカー
宿泊施設	バス2泊、山小屋2泊	日帰り	日帰り	日帰り
温 泉	雷鳥荘	有り	有り	有り
参加費	6.5～7.0万円	1,000円	4,000円	1,000円
申込期限	6/30	随時	随時	随時
集 約	高森	金丸	佐原	中里
備 考	立山主峰(雄山、大汝山、富士の折立) 真砂岳、別山など 3000m級5山縦走と黒部ダム放水を見学	眉山の続きです 平成新山の溶岩ドームを間近に見る事ができます。	竜門キャンプ場から涼しい登山道を歩きます。後黒髪もいってみよう。	小松尾公園を通過して巨大なヒメシャラを眺めて気持ち良い涼しい道です。
感想文提出	8/19	9/2	9/4	9/9



### 沢登り

夏は涼しい沢登りをしましょう。

県連主催沢登り：8/10(日)

オレンジ主催沢渡渉：8/30(土) 8:30 JR 西諫早駅集合

### オレンジ実力養成講座

週一のロッククライミングに挑戦しよう

年間2～3回 テント生活経験で生き抜く知恵と力を！

中央登山学校九州校に参加しよう：9/27～28

### オレンジ 町の例会

8/2(土) 18:30～

ごぞんじ「魚荘」 4,500円

申込み：佐原さん





## 2014 / 9月の山行

部	自然保護部	技術研修部	山行部	ひまわり
月/日(曜)	9/7(日)	9/13(日)~15(月)	9/23(火)	9/26(金)
山名(行事)	烽火山(426m)	石鎚山(1982m)	桂木山(702m)	矢岳/絹笠山
地 図	長崎	石鎚山・瓶ヶ森	山口県美祢	雲仙
集合場所	西諫早駅 8:30	諫早駅裏 17:30 西諫早駅 17:40	諫早駅裏 6:00 西諫早駅 6:10	西諫早駅 8:00
難 易 度	初級	初級、中級	初級	初級
帰着時間	15:00	15日 23:50	19:00	17:00
歩行時間	4.0h	14日 5.0~6.0h	4.0h	4.0h
交通手段	JR & 市電	マイクロバス	マイクロバス	マイカー
宿泊施設	日帰り	1泊フェリー 大歩危祖谷阿波の抄	日帰り	日帰り
温 泉	なし	有り	有り	有り
参加費	1,200円	30,000円	5,000円	1,000円
申込期限	定員になり次第	定員になり次第	定員になり次第	随時
集 約	中里	佐原	高森	金丸
備 考	シーボルト宅跡や妙相寺など烽火山の道筋の史跡なども訪ねます。	西日本最高峰の石鎚山に登ります。出来たら天狗峰もそして次の日は祖谷のかずら橋も行く予定です	秋吉台の北側にある三角形の先鋒。山腹に修験道の跡という白糸の滝がある。	雲仙の自然を楽しみながらゆっくり歩き頂上へ。山頂からの展望も素晴らしい。帰りは温泉で心身のリフレッシュ。
感想文提出	9/14	9/22	10/1	10/5



8/02(土)	平和登山・被爆遺構巡り
8/10(日)	沢登り実技(ウナギレ沢)
9/27,28(土日)	中央登山学校九州校(阿蘇) 全国ハイキング交流集会(岐阜)
10/05(日)	いつだって花盛り <b>女性委員会</b>
10/11,12(土日)	第17回全国登山者自然保護集会(静岡)
10/18,19(土日)	県連登山フェスタ(金泉寺予定)

**県連女性委員会担当**：オレンジは**高森陽子**さんです

5月より活動を開始しています。全国連・九ブロ・県連女性委員会や女性委員会主催の行事が続きますので、会員の皆さんご協力をお願いしますね。



## 2014年6月25日(水) 救急救命



昨年、県連主催で救急救命の講習を長崎中央消防署で受け、証明書もいただいたが殆ど忘れていた。

今回は西諫早分署の方から大変分り易く教えていただいた。感謝いたします。



胸部圧迫は100回/分ペースで30回、次に人工呼吸2回また胸部圧迫を繰り返し、AEDが用意できたらその指示に従って処置する。

簡単に出来そうであるが、人工呼吸では立ち上がるとクラクラとめまいがするし、女性は髪を振り乱して、息を吹き込むと言うより吸い付いているように見える。

胸部圧迫では肋骨が折れても良いから5cm位押し込むように言われるが、現実には手加減してしまいそうである。人命救助なんだから、いざと言う時すぐに出来るよう、時々誰かと復習をしておこう。  
(救護担当? 記)



胸部圧迫

ボキ  
ボキ



人工呼吸

フ～  
ハ～



AED

## 2014年6月30日(月) 国民平和行進

【参加者】大村市役所まで：福岡、兵庫、山口、林(孝)、川内  
鈴田峠まで：中須賀、高森、松田、佐原、橋本(一般参加)

(9+1名)

【行程】西諫早駅 9:10/9:15～高城公園 10:40/10:55～諫早駅裏 11:25/11:35～諫早バイパス下  
12:25/12:35～鈴田峠P(昼食)13:10/13:50～岩松駅 14:25/14:35～大村市役所 15:20



### 【感想】

6月の全体会議の「救急救命」講座でバタバタしている時、大先輩の山口さんから「平和行進に行こう!」と誘われた。実は私は今まで恥ずかしながら平和行進に参加したことはなかったのです。関心がなかったわけではなく、その時体調を崩していたり、舗装した道路を歩くのに自信が持てなかったりしたためである。しかし、今回は昨年12月の「小浜～唐比」の歩きも出来たので思い切って参加することにしたが、平和行進を見たこともないので、全体像が見えなく心配症の私は詳しく山口さんに聞いた。



平和行進(西諫早駅)

当日、私は高城会館から参加することにしたので行ってみると既にオレンジの2人の仲間  
はみえていた。他の団体の人も多数いてアコーディオンの演奏に合わせて私達が知らない反  
戦の歌などを歌ったりしている。そのうち西諫早駅を出発してきた平和行進の一団が到着し  
た。オレンジの仲間も6名いる。「長崎県勤労者山岳連盟」ののぼりを担いだ福岡会長の顔も  
見える。そこで冷たい麦茶、紅茶、コーヒーなどが振る舞われゆったりした休憩時間となる。

なかには5名ほどでフラダンスを踊ってこの行進を楽しいものにしてしている団体も  
いた。

大村市役所へ向け行進開始。大通りの歩道を歩くので  
あるが、街宣車が一台と各種団体総勢86名の行進である。  
街宣車からは女性の美しい声で「広島、長崎の原子爆弾投  
下による被害状況・核兵器や核実験のこと・原子力発電  
所のこと・東北特に福島の問題・更に今問題になって  
いる集団的自衛権のこと等」ボリューム高く繰り返し流れ  
てくる。今後、戦争に巻き込まれることなく平和が続き  
ますようにと祈らずにはいられない。



平和行進(諫早バypass高架下)

諫早駅裏ロータリー、本野、鈴田峠、岩松駅前であっぷりの休憩と冷たい飲み物を取りなが  
ら歩くので、殆ど疲れは感じなかった。それに今日の天気は最後に一時晴れたが曇で歩くのに  
最適であった。腰を痛められている川原さんも本野で待っていてみかんを頂きました。

鈴田峠で遅い昼飯をとったが、そこに駆けつけ冷たいおしぼりで労をねぎらってくださった  
鎗水さんありがとうございました。ここでオレンジの仲間4名と別れ私達5名で最後まで歩く  
ことになった。

大村公園が見えてきた時は流石に嬉しかった。予定より随分早く大村市役所で解散式があり、  
車で迎えに来てくださった鎗水さんに感謝しながら家路についた。私の心は達成感で満たされ  
ていた。ちなみに今日の私の歩数は26,000歩である。

最後に元会員の宮島さんは毎年毎年長崎県下を歩き通されていたが、今思うと誰にでも出来  
ることではなく頭が下がる思いがします。皆様お疲れ様でした。(川内 記)

## 2014年6月/7月の山行報告



### 2014年6月15日(日) 帆柱岳～多良岳縦走

【参加者】川原、田村、川内、兵庫、本田、林(孝)、松田、中野、高森、下釜、山下(ち)、山下(文)、松岡、  
間ノ瀬、田中(静)、佐原、小山 (17名)

【行程】西諫早駅 8:10～帆柱岳登山口 9:40～帆柱岳 10:00～一ノ宮岳 10:50～  
黒木岳(昼食)11:30/12:05～前岳 12:55～多良東峰 13:13～多良岳 13:55/14:10～  
金泉寺 14:50/15:00～金泉寺車道入口 15:25

## 【感想】

3月16日の西川内虚空蔵山とちゃんこ鍋以来まるまる3ヶ月ぶりの山行である。

右足首くるぶしを故障し、ハイカットのトレッキングシューズが履けず、ずっと山行を見送っていたが、夏の立山山行も近まってくるし気が気ではない。まだ完治していないが思い切って参加した。多良東峰から先の方は行ったことがないので楽しみなコースだ。

帆柱岳登山口から登山開始。天気は曇り空で微風もある。ゆっくりペースなので息もさほど上がらない。しかも梅雨期というのに湿気が少なく、汗で肌がべとつく嫌な気分も感じない。樹林の中、落ち葉を踏みしめ快適に歩く。久しぶりの山行に気分も高揚する。やはり山はいいものだ!!

帆柱岳から一の宮岳へ向かう途中、ワールドカップのコートジュボワール戦で本田選手が先制点を入れた、とM氏が情報を提供してくれる。情報ごとに一喜一憂しながらも足下だけは注意深く歩く。もし、足をひねりでもすれば元の木阿弥だ。

今日は花と植物に詳しいY女史と前後しながら歩くので、色々な名前を教えてくれる。

しかし覚える気になったのはガクウツギとカンアオイの二つだけ。ガクウツギは同じ木で白い花弁が4枚のものと3枚のものがあるのに興味を覚えた。一寸、三つ葉のクローバーと四つ葉のクローバーを連想したからである。ちなみに私は五つ葉のクローバーも採取したことがある。四つ葉の中心から5枚目の葉が立ち上がっているのです。

カンアオイは独特の形をしており印象に残りやすいが、地面に密着して咲いており非常に見つけづらい。目線の低いY女史(失礼をお許し下さい)ならではと感心する。

ナルコユリもあちらこちらにある。かつて薬草に興味を持った一時期、マタタビやナルコユリを採取して滋養強壮(強精?)剤としてアルコール漬けにし、マタタビ酒などを作って愛飲したことがある。

マタタビは沢筋の木から落下したものを沢登りの時に拾ったからまだいいものの、ナルコユリは根を使うため根こそぎ掘り起こしたものである。

自然保護に反する行為に、今は懺悔!懺悔!

帆柱岳から多良岳までのコースはマイナーなコースであるのか、初めてだという帆柱岳登山口で会った佐賀の4人グループと、黒木岳分岐での二人連れだけであった。しかし高低差も250m位である本コースは、だんだん高齢化するオレンジ会員や初心者用として手頃なコースだと思われる。しかしコース中の道標はやや分かりにくい。かつて郡岳~経ヶ岳に道標を立てたように、このコースにも設置しては如何。但しコースが佐賀県側にあるため、佐賀労山とのすりあわせも必要であろう。多良東峰からは目前に多良岳、その先に五ヶ原岳、経ヶ岳と多良三山を眺め多良を堪能した山行であった。

(兵庫 記)



一の宮岳



難所も何のその

## 2014年6月20日(金) 九千部岳(長崎/雲仙)

【参加者】 松岡、佐原、吉川、小山、金丸、兵庫、中須賀、田村、川内、山口(い)、中里、本田、福岡、山下(ち)、山下(文) (15名)

【行程】 西諫早駅 9:00～田代原トレイルセンター10:05/10:20～九千部岳登山口 10:25～九千部岳山頂(昼食)12:25/13:00～田代原トレイルセンター15:20

### 【感想】

今日は九千部岳へマイカーで行くので西諫早駅に9時に集合した。例会ではお目にかかれない満点の笑顔でみんなと挨拶を交わした。

こんな時、小学生の遠足気分になるのは私だけだろうか？

田代原のトレイルセンターに10時過ぎに到着した。駐車場はヤマボウシを見に来た登山客の車で一杯。軽いストレッチをして九千部岳へ出発。しばらくはなだらかな樹林帯の中で歩きやすい道だった。徐々に高度を上げて進む。1時間以上歩いたら大岩を登ったり下ったりだった。山頂付近になり、稜線に大岩が突き出していて、そこ



ほらほらし〜ろいヤマボウシ

により登ったら雄大な眺めが見られて、今日のメインであるヤマボウシが山肌を白く染めていた。登った人皆が歓声をあげていた。霧もかかってなくて目の前に雲仙の山々と温泉が見えた。そこから又大きな岩を上ったり下ったりして12時半頃頂上に到着した。久留米からの登山グループで一杯の頂上でやはりわれわれも弁当を食べた。13時に稜線を東に進み九州自然歩道に出て田代原へでるが大きな石ころの道で足がうまく運べない。滑らないようにゆっくりゆっくり皆さまの後をついて歩いた。静かな自然のたたずまいを満喫しながら歩いた。



途中、休憩所が何か所もあり、そんな時ホッと一息つけて雑談がはずんだ。

下りの時、メインのヤマボウシが目前に大きく見えて感激した。

登りはじめも、タニウツギ、ハナイカダ、ヤマツツジに出会い心安らいだ。

私は花の名前がなかなかインプットできないがYさんは同じ花の名前を何回聞いても教えて下さる。

トレイルセンターの駐車場に3時過ぎに到着した。

今回はベテランの方や男性も多くて安心して登れた。帰りは温泉で汗を流して帰った。

ひまわりの方々のお世話で今年もヤマボウシに出会えて感謝、感謝。来年もヤマボウシに会えたらいいなあ！お世話になりました。ありがとうございました。 (田村 記)



## 2014年7月6日(日) 脊振山～蛤岳縦走

【参加者】川原、小山、山下(ち)、山下(文)、兵庫、金丸(勝)、金丸(直)、佐原、田村、林(孝)、船津、松田、高森、山口、川内、田中(静)、下釜、國分、中須賀、野中 (20名)

【行程】諫早駅裏 6:50～西諫早駅 7:00～東脊振 IC(國分さん合流)8:20～脊振山頂駐車場と脊振山頂往復 9:00/9:30～蛤岳頂上(昼食)12:00～蛤水道源流(15名)/坂本峠(5名)に分れる～蛤水道源流 13:15～坂本峠 15:20～山茶花の湯 16:40～東脊振 IC(國分さん別れ)～諫早 IC 18:20

### 【感想】

今年の梅雨は雨の時期が長いとか激しいとか天気予報で聞いていましたが、「蛤岳、難易度 初級」に、入会して間もない私は、梅雨の晴れ間になることを願って参加を決めました。

7月5日 明日の予報は佐賀は曇り、昼から雨。お弁当を食べるまで降らなければいいけど。

7月6日 朝5時外は雨、佐賀もこれでは雨と思いながらも集合場所の西諫早駅へ。皆さんとマイクロバスに乗り脊振山まで、雨は容赦なく降ります。

山頂で参拝をすませて蛤岳を目指します。途中丸太でできた林道を雨で濡れているので滑らないように足元を見ながら気をつけて歩きました。ヤマアジサイ、ヤマボウシの花を見つけては、楽しい気持ちになりました。蛤岳に到着後、雨の中でお弁当を食べました。

難易度は上級コースだったかしらと思いました。



脊振山頂の祠、後ろにレーダードームが霞む



蛤水道源流を通り坂本峠を目指します。

傘をさし山中を歩く、思いもしなかった行動で途中ドブドブの山道に靴がズボッと入り込みました。また濡れ落ち葉の急な下り坂もあり(でも濡れ落ち葉が銀色に輝き綺麗な所も)、滑らないように気を付けて歩きました。

木々が鬱蒼とした所では薄暗くなり、でも皆さんと一緒になのでそれも楽しくて。

無事到着。マイクロバスに乗車する。温泉に入り 後 諫早へ直行しました。

(船津 記)

## 個人山行

### 2014年6月15日(日) 芹洋子コンサート in 坊がつる & 平治岳

6/15 坊がつるの法華院温泉山荘で開催される芹洋子コンサート、翌16日は平治岳のミヤマキリシマを見るため出かけた。

二日とも比較的爽やかな天気恵まれた。

コンサートを目的に来訪者が多く、かつての山ガール & 山ボウイで山荘は混雑していた。

我々は早目に着き、温泉につかり、さっぱりしたところで芹洋子さんと写真に納まり、リハーサルの様子を拝見し、また他の山岳会の知人や、思いがけなく懐かしい人にも巡り会えた。

コンサートは「四季の歌」から始まり、叙情歌や青春歌、山の歌など……やがて歌声喫茶のように皆で合唱し大いに盛り上がった。もちろんクライマックスは「坊がつる賛歌」である。

芹洋子さんの澄んだ声がたつぷりと、しみと～お～る～……はずであったが、時々調子っぱずれの声で興ざめる。でも退屈な山小屋の夜を楽しく過ごす事が出来たので良しとしよう。

翌日は7時に小屋を立ち平治岳へ向った。天気は薄曇り、ミヤマキリシマは十分見応えあり。大戸越で女性二人連れの一人が、南岳を見上げここで止めると駄々をこねていた。余計な事

とは思ったが、ここまで来て戻ったら後悔するよと言って先を急いだ。結局くだんの女性は登ってきて感動し、感謝された。至福の二日間であった。

いつもせかせかと山に登るだけではなく、時にはこのような企画も良いのではなかろうか。

後日談ながら、コンサートの様子は7/5 BS-TBSの「日本の名峰」で放映されたが、筆者がアップで映り冷や汗をかいていたら、その直後から電話や携帯メールが鳴り始めた。

(オッカケマン)



### 2014年6月29日(日) くじゅうのオオヤマレンゲ

九重スキー場・獺師岳・合頭山の単独登山撮影。梅雨に入りうっとうしい雨模様がつづいていたが、6月29日は晴天、オオヤマレンゲに逢いに行きました。

オオヤマレンゲ目当ての多くの登山者の姿を見ながら、広いなだらかなゲレンデを登り始める、目当のオオヤマレンゲに逢えました。そっと顔を近づけるとほんわりといい匂いがした。

その近くにヤマボウシも咲いていました。

帰りに夢の大橋を見学し振動の滝を撮影。龍門の滝、宝八幡宮のアジサイ名所に立ち寄り帰路に就く。

(野中 記)



## “高熱隧道と泡雪崩”<sup>ほうなだれ</sup>

(Wikipedia 参照)

吉村昭氏の小説「高熱隧道」は 1967 年(昭和 42 年)に発表された。

日本電力黒部川第三発電所の水路トンネルや軌道トンネルの過酷な工事現場と人間関係について、建設会社の現場土木技師の目を通じて描いた作品である。

黒部峡谷の櫛平から上流にダムを設置し、水路トンネルで櫛平の水力発電所まで水を引き発電を行なう。

発電所建設が着工されたのは 1936 年 8 月。

ところが、工事現場の地下には高熱の断層が走っており、わずか 30m 掘り進んだだけで岩盤温度は摂氏 70 度を超え、奥に進むにつれて上昇を続け、作業者に水をかけて冷却するなどの策を講じて工事を進めていく。

しかし、岩盤の熱によるダイナマイトの自然発火や、真冬「泡雪崩」で鉄筋コンクリートの宿舎が根こそぎ飛ばされるなどの事故が発生し、異例の数の犠牲者が出る。岩盤温度は摂氏 166 度を記録し史上例を見ない過酷な環境が形成されていくが、国策として工事は続けられ苦難の末隧道は貫通する。



前置きが長くなったが、この中に出てくる「泡雪崩」に興味を持った。

多雪地で気温が低く、多量の降雪を伴う吹雪の時かその直後の積雪が安定しないときに起きやすい。そのため、主に厳冬期の山間部で発生する。

通常の雪崩のような雪塊の落下とは違い、雪崩を構成する雪煙が最大で 200km/h 以上の速度で流下する。その衝撃圧は 1 平方メートル当り数十トンに達し、大きな被害をもたらすと考えられている。この破壊力に関して、爆風が発生すると誤解されることが多いが、実際は、雪煙が空気と雪粒の混合体であるがゆえ生じる衝撃圧である。そのため、泡雪崩が発生すると、あまり雪が堆積しないにもかかわらず(通常の雪崩では多量の雪が堆積する)、衝撃によって周囲のものがことごとく破壊されるか吹き飛ばされるという状況が発生する。

「高熱隧道」では「泡雪崩」について、「雪塊の落下ではなく、雪崩れる際に、新雪の雪の粒と粒の間の空気を異常なほどに圧縮して落下するものである。そして、突然障害物に激突すると、その圧縮された空気が大爆発を起し、爆風は、音速の 3 倍毎秒 1,000m 以上の速さをもつ可能性も生まれる」と記述されている。そして、その破壊状況を「コンクリートの宿舎は、1 階と 2 階の継ぎ目部分から上を、スパッと引きちぎられ、忽然と消えてしまった。……それが発見されたのは、宿舎が建っていた場所より 78m も高い山を越え、580m も離れた岩壁に叩きつけられ、岩棚に載っていた。死者は 84 名」と表現している。

巨大なエアガンの圧縮されたエアが、一方向に一瞬に解放された状況を想像したらよいのであろうか？

(鎗水 記)



2014/07/06 09:19  
脊振山



2014/07/05 12:55  
蛤岩



2014/07/05 12:26  
蛤岳



平和行進初日



2014/08/30 11:31  
平和行進諫早駅裏



平和行進高城公園



合頭山のオオヤマレンゲ



振動の滝



龍門の滝



南岳より



平治岳より



芹洋子コンサート

発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	福岡 正廣
8月号の 編集責任者 及び 編集委員	鎗水律夫 福岡正廣、山下ちず子、中野美津子、山口いつ子、 山下文代、林和子
発行年月日	2014.7.23
財政担当	
郵便振替口座	
ホームページ	<a href="http://orangehikingclub.com/">http://orangehikingclub.com/</a>

編集後記

異常気象でも四季は巡ってきます。  
今月号は通常山行の記事は梅雨時  
で少ないですが、勉強会や平和行進、  
個人山行など少しバラエティーに  
富んだものになっています。  
今後とも内容豊かな会報にする為  
山に拘る事無く、会員の皆さんから  
の投稿を希望いたします。